

珈琲店 はち

- 物件名：珈琲店 はち
- 住所：住吉町 12-1
- 電話：27-6408
- 所有者：個人
- 運営者：長谷川典子・布川真紀子
- 建物履歴：
平成8年 珈琲店 はち 移転開業(民家改装)

■外観

- ①形態
以前営業していた建物の部材を移築した形態。
- ②玄関
そのままの状態を残し玄関の壁は明るくしようとモルタルを塗り替え白っぽく塗装を。
- ③看板
当時看板は小さな玄関につけた看板だけだったが、わからないとの声が多く大きな看板をもうひとつ設置。

■内観

- ①厨房
もともとあった台所をパン・ケーキの専用の厨房に修復。
- ②窓・建具
家の間取りを考えて施工業者と相談。
- ③防寒
現在は薪ストーブを設置。閉店後も完全に冷え切らないようになっているので寒さは大分しのげているが、薪の管理または冬の暖房費用などは永遠の課題。

■コンセプト

15年前、富岡町の古民家で営業していたが建物の取り壊しと新しい土地購入者により、新築住宅を建築することになり取り壊し移転。約1年間物件を探して現在の物件に出会う。

取り壊しの決まった前の店舗は、昭和初期の歴史的建造物にもなりそうな建築物だったので、扉、建具、床などなるべく再利用してもらおうと思い、再利用で改築をしてもらえる知人の建築会社へ施工を依頼。

外壁一枚だけの工事の状態から古いかんじのする内装は、建具の再利用による。自分達としても、前の店の歴史そのまま引き継いでいきたいとの思い。

当時は再利用で工事を請け負う業者がなく大変だったことは今と大きな違い。

オーガニック・スローフードのメニューを中心にしているため、壁などの塗装も極力しないで木造の質感を大切に。

15年経過して柱など焙煎の煙などの色が自然とつき今で馴染んできた。

ゆっくりとした時間を過ごしていただけたら。

■客層

地元小樽の人がほとんど。週末、小樽近郊からのお客様がみえる。



外観



カウンターから厨房



建具・窓ガラス



まどろみのひととき



丘の上のたたずまい



小樽ファンタジーを代表する店内



ストーブ